

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社
 コード番号 8032 URL <http://www.kamipa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 松谷 克
 (氏名) 岡崎 昭彦

TEL 03-3270-1311

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	313,123	△16.8	3,177	△27.8	3,939	△13.9	2,561	34.8
21年3月期第3四半期	376,412	—	4,404	—	4,574	—	1,900	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	17.57	16.97
21年3月期第3四半期	13.06	12.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	248,951	64,462	25.4	432.77
21年3月期	233,512	62,289	26.2	421.26

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 63,279百万円 21年3月期 61,272百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,000	△11.7	4,400	△9.9	5,000	5.5	2,900	△11.7	19.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 150,215,512株 21年3月期 149,421,642株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,999,262株 21年3月期 3,972,036株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 145,779,725株 21年3月期第3四半期 145,467,506株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月13日に公表しました連結業績予想について、本資料において修正しております。上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善を背景に、輸出や生産の増加による景気回復の兆しが見える一方で、企業収益及び雇用・所得環境は依然として厳しい状況にありました。

紙パルプ業界におきましては、カタログ、チラシをはじめとする商業印刷の需要減少など、国内需要の低迷を反映して紙、板紙とも低調に推移致しました。

このような状況のもと、当社グループは業績の向上を目指し、取引先との関係強化を図るとともに緊急対策として引き続き経費削減策を実施してまいりましたものの、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期比16.8%減の3,131億円となりました。利益面では、営業利益は27.8%減の31億7千7百万円に、経常利益は13.9%減の39億3千9百万円になりました。四半期純利益は特別損失の減少等により34.8%増の25億6千1百万円になりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、当第3四半期連結会計期間末日が銀行休日であったことに伴う売上債権の増加等により、前連結会計年度末に比べて154億3千9百万円増加しました。総負債は、仕入債務の増加等により132億6千6百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月13日に公表しました通期の業績予想を修正しております。

売上高の予想につきましては、国内の景気回復の速度が緩慢であり、紙パルプ業界においても国内需要の急速な回復は見込まれないことから、前連結会計年度比11.7%減の4,200億円に下方修正しております。これに伴い、営業利益は前連結会計年度比9.9%減の44億円、経常利益は5.5%増の50億円、当期純利益は11.7%減の29億円としております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,062	2,268
受取手形及び売掛金	136,860	128,640
たな卸資産	16,404	16,075
その他	4,272	5,241
貸倒引当金	△1,559	△2,030
流動資産合計	159,038	150,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,068	24,109
土地	21,767	17,946
その他(純額)	4,310	1,976
有形固定資産合計	50,145	44,030
無形固定資産	564	543
投資その他の資産		
投資有価証券	31,794	30,492
その他	8,321	8,830
貸倒引当金	△912	△577
投資その他の資産合計	39,203	38,745
固定資産合計	89,912	83,318
資産合計	248,951	233,512
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	106,721	94,569
短期借入金	22,817	23,314
コマーシャル・ペーパー	13,000	9,000
1年内償還予定の社債	10,000	2,787
未払法人税等	1,135	299
引当金	819	1,576
その他	4,385	3,810
流動負債合計	158,876	135,355
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	15,508	15,776
退職給付引当金	2,919	2,248
役員退職慰労引当金	791	1,105
負ののれん	658	675
その他	5,737	6,064
固定負債合計	25,614	35,868
負債合計	184,489	171,223

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,649	16,506
資本剰余金	15,242	15,099
利益剰余金	34,546	33,447
自己株式	△1,503	△1,494
株主資本合計	64,934	63,557
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△713	△1,360
繰延ヘッジ損益	△22	△7
為替換算調整勘定	△920	△919
評価・換算差額等合計	△1,655	△2,286
少数株主持分	1,183	1,018
純資産合計	64,462	62,289
負債純資産合計	248,951	233,512

(2) 四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	376,412	313,123
売上原価	348,670	288,313
売上総利益	27,743	24,810
販売費及び一般管理費	23,339	21,633
営業利益	4,404	3,177
営業外収益		
受取利息	100	104
受取配当金	721	561
負ののれん償却額	—	38
持分法による投資利益	30	247
その他	190	408
営業外収益合計	1,042	1,358
営業外費用		
支払利息	702	548
その他	170	50
営業外費用合計	872	597
経常利益	4,574	3,939
特別利益		
投資有価証券売却益	158	207
抱合せ株式消滅差益	—	150
固定資産売却益	12	8
受取補償金	63	—
企業結合における交換利益	53	—
その他	2	16
特別利益合計	288	381
特別損失		
減損損失	—	255
投資有価証券評価損	795	133
固定資産処分損	11	56
その他	14	9
特別損失合計	821	451
税金等調整前四半期純利益	4,041	3,868
法人税、住民税及び事業税	1,729	1,312
法人税等調整額	349	△26
法人税等合計	2,078	1,286
少数株主利益	63	22
四半期純利益	1,900	2,561

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。